

1955年につくられたピアニスト・園田高弘の住宅。設計は吉村順三。建築面積18坪、延床面積23坪ほどの小住宅である。戦後の規模や材料に制限がある頃の作品で、小さく、また簡素な素材でつくられているが、ほかの50年代の小住宅と同様に、制限があるからこそ、今にも通じる合理性と潔い意匠が実現している。担当は、当時吉村順三設計事務所にあった家具デザイナーの松村勝男。

## 園田高弘邸



写真：齊藤さだむ